

## 新しい旅路が始まります

所長：英 隆一郎（ハナフサリュウイチロウ、イエズス会司祭）



皆さま、暑い夏をどのように過ごされたでしょうか。釜ヶ崎も暑い夏でした。お盆の夏祭りはちょうど台風の通過と重なり、前夜祭と1日目しか開催できませんでした。来年こそは3日間の夏祭りを行いたいです。

ところで、旅路の里の建て替えがようやく終了し、9月2日（土）に開所式を行い、活動を再開しました。新しい建物については、今後の発展などを考慮し、土地と資金をイエズス会が認定 NPO 法人子どもの里に寄付し、4階の新しい建物を建てました。3～4階は児童自立生活援助事業（自立援助ホーム）となりました。生活困難を抱える女子（15歳から20歳くらい）が住み、自立できるように援助する施設として活動を始めます。1～2階は従来どおり、旅路の里の活動です。



旅路の里は今まで支援者の活動拠点であったり、外部の若者（高校生や大学生が中心）がここで体験学習を行い、社会のあり方と自分たちに生き方を見つめ直す場として利用されてきました。これからも釜ヶ崎の中と外の社会をつなぐ架け橋になるような活動を続けていくつもりです。

私が以前所長をしていたとき（20年前ですが）、釜ヶ崎は労働者の町として生き生きとしていた印象があります（その分問題も多かったが）。今回、再度責任者として赴任しますと、町の変わりように少々驚きました。現役労働者が減り、福祉のお世話になっている单身男性高齢者が多数を占めるようになり、まわりには外国人観光客が溢れています。また、外国人居住者もかなり増えています（ベトナム人と中国人が多い）。日本社会の変化そのものを如実に感じます。そのために、支援活動の拡がりにはさらに多種多様になりました。また、釜ヶ崎の町全体の将来についてもさまざまな模索が始まっています。そのような変化に合わせて、私たちも再出発したいです。



新しい建物になったタイミングで、今まで長年働いていた高崎恵子が退職しました。そして、新スタッフとして、福田紀子（カトリック信徒）と大田伊杜子（援助会シスター）が就任しました。これからは私を入れた3名のスタッフ中心に活動していきます。

今はまだ引っ越しと片付けで時間が取られていますが、落ち着いてきたら新たな活動を少しずつ始めます。予定として、釜ヶ崎で働く支援者の話を聞く会（サロン形式）、ボランティア活動や町巡りを通して、体験学習する会（セミナー形式）、聖書をいっしょに読む集まり、さらに、いやしのミサを月1回のペースで行います（第3月曜日午後7時から）。近隣にお住まいの方はよかったですらご参加ください。



新しいスタートを切った旅路の里をこれからも応援してください。よろしく願います。皆さまにも、神の祝福がありますように。

## 旅路の里 2年間のあゆみ

2021年12月 古いドヤを改修して1982年に薄田神父がイエズス会の施設として活動を始めた建物は40年の役割を終えて、建て替えがはじまりました。

コロナ禍の影響もあり、建設は計画時から時間がかかりましたが、2023年1月には建物の工事をはじめるとあたっての祝福式を行いました。そして2023年8月の竣工式、9月2日に開所式を行うことができました。

### 旅路の里 & こどもの里女子自立支援ホーム「パレット」 合同開所式 (2023年9月2日)

まず、旅路の里の責任者である英神父よりマタイ福音書18章1-5節の朗読とお話から始まりました。神父からは「子どものようにちいさなものが、神様に一番近い」これは釜ヶ崎で活動していると当たり前になってくることですが、もう一度その意味を考える場にしたい。

続いて荘保共子こどもの里理事長が今回の建物がこどもの里に寄付される形で2つの団体が利用することになった経緯と建設関係でご協力いただいた簡易宿泊所衛生同業組合の山田相談役、秋山設計士、シアター建設社長など建設にかかわったみなさんのご紹介がありました。

ゲストからは；

酒井大阪大司教区補佐司教、臣永正廣

西成区長、佐久間勤イエズス会日本管区長と

ごあいさつが続きました。キリストの教えを实践する場としての期待や、変わりゆくまちをともにつくっていくための世代や属性を越えたつながりの期待が語られました。

行政からも西成区保健福祉センター福祉担当課長、子育て支援担当課長、西成区社会福祉協議会会長からも、これからの地域をよくするために協力していきたいというメッセージをいただきました。

そして旅路の里のパートナーでもあり拠点であり事務局を務める「釜ヶ崎キリスト教協友会」吉岡共同代表からは「今まで旅路の里のおかげで多くの人がこの地域にかかわり、育っていった。建物は器だけではなく、そこで人が出会い、活動してこそ生きていくもの。旅路の里は、わたし個人もとっても思い入れのあるところ。新しい旅路も使い倒していきたい」と心強いエールがおくられました。

実際の隣人でもある「ウエルフェアマンションおはな」のオーナーであり簡易宿所生活衛生同業組合理事長でもある西口宗宏さんからは「様々な人が出入りする様子に最初は驚いたが、一緒にいい街をつくっていきたい」との言葉をいただきました。



酒井  
補佐司教

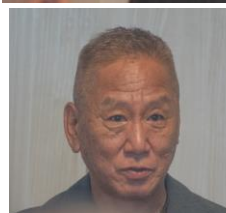


臣永区長

佐久間管区長



吉岡さん



西口さん



↑ Sr.大野、上畑さん  
高橋さん



← Sr.マリア  
↓ 山田實さん



田村さん、右はありむらさん



↑ 大谷さん  
↓ 秋山さん

久守さん



受付する青山さんと高崎さん



パレットのスタッフ



釜ヶ崎には長年にわたって活動を続けているシスターたちがいます。その一人援助修道会のシスター大野は「旅路の里を頼って釜ヶ崎での活動を始めて40年近くたちました」、「子供のころから父に連れられ釜に親しんでいました」と釜ヶ崎ストロームの家の理事長上畑さんに続き高橋さん「釜ヶ崎は誰が来ても、受け入れるまちであることは続いています」聖母被昇天会シスターマリア「ここは“人”が中心にいます。人を大切にされた神様のメッセージをここで知りました」山田實 NPO 釜ヶ崎支援機構理事長、釜ヶ崎に入って労働者も労働運動もものすごい偏見にさらされていた。そんな闘いの時にもキリスト教協友会には大変お世話になった。南米から活動家でもあるゲストが来たとき、都市にスラムがあるのは、世界中共通だが、釜ヶ崎のように男性労働者ばかりの所はここだけではないか。その非人間的な環境をどうやっていくかを考えてきました」

まんが“カマヤん”やまちの案内人として知られるありむら潜さんに続き、山王子どもセンター田村さん「前の建物では子どもたちと一緒に“肝試し”に行きました。1階で怖い話をしてから2階の各部屋にあるお菓子をとってくる、というものです。もう肝試しはできないかもしれませんが、これからも子どもたちと何ができるか考えたいと思います」

医療連・関西キリスト教都市労働問題協議会釜ヶ崎委員会の大谷さん「はじめて訪ねた時もいろいろな人が出入りしていて驚きました」文字通り隣人（裏隣り）の希望の家秋山牧師「これからもいっしょに活動していきましょう」他、旅路の里を拠点にして長年活動を続けている木曜夜回りの会の青山さん、援助修道会西成共同体の責任者久守さんなど旅路の里につながる人々、行政・地域・協友会他支援グループが一堂に会する熱のある会となりました。

最後には1・2階の旅路の里、3・4階の女子自立援助ホーム「パレット」のスタッフ紹介の後、1階の交流会へと移り飲食を交えながら楽しい語り合いの場となりました。



## 旅路の里から 新しい旅路の里にもご協力ください

### お訪ねください

個人でもグループでも短時間でも研修や集いに利用したいでもご訪問ください。

平日 9-5 時開所ですが、スタッフ不在の時もあります。土曜日もふくめて事前にご連絡いただくと助かります。電話：06-6641-7183、メール：tabijinosato1@gmail.com

また、**ホームページ**をつくりました。まだまだ情報は十分ではありませんがこちらにもぜひ、お訪ねください。

\*ホームページはこちらから！



### ご協力ください

旅路の里の運営、特に今年も年末年始の越冬に備え、ご支援をお願いいたします。

寄付金； 郵便振替 ~~00920-3-566482~~ 00920-3-56487

「宗教法人カトリックイエズス会 旅路の里」

支援物資は別紙参照。ご送付いただける際には事前にお知らせください。

### ご参加ください

#### ■10月より「いやしのミサ」を始めます。毎月第3月曜日 19時～

\*日時は変更の際にはHP等でお知らせします。またはお電話でご確認ください。

釜ヶ崎というまちが背負っている痛みや傷、そこに住む人だけでなく、わたしたち一人一人が抱える重荷からの解放を願ってミサを行います。ご意向があれば受け付けます。直接参加できない方もミサの中で共に祈ります。メールでもお手紙でも結構ですので、お寄せください。(担当司祭：英隆一朗)

■そのほかに「聖書を読む会」「トークサロン」などを企画中です。HP 他でお知らせします。直接ご案内をご希望の方は旅路の里にメールでお申し出ください。参加いただける事業等が決まりましたら、メールでお知らせをお送りします。

#### ■旅路の里スタッフ紹介

35年旅路の里を支えた高崎恵子が退職いたしました。ありがとうございました。

新しいスタッフはまだ不慣れですが、よろしくお願ひいたします。



大田伊杜子  
(援助修道会)



福田紀子

旅路の里ニュースレター 2023年10月号 発行:旅路の里  
〒557-0004 大阪市西成区萩之茶屋 2-8-9  
電話:06-6641-7183 Mail: tabijinosato1@gmail.com  
URL: <https://tabijinosato.org>